

公表

保育所等訪問支援事業所における自己評価結果

4名配布4名回答

事業所名		社会福祉法人水仙福祉会 淡路こども園		公表日		2025年 3月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制・ 運 備 營	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	0	4		教具教材を用いて行ったことがないので、他の事業所の例も聞いて必要があれば善処したい。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	保訪のニーズはあるが、十分に対応しきれていない。		
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者の評価結果は必ず職員全体で読み合わせ、業務改善につなげるよう取り組んでいる。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		定期的に職員の意見を聞く場と時間を持つようにし、モチベーション向上と業務改善に繋がりたい。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		第三者評価を行なう必要性を認識している。実施に向けて準備したい。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	施設内研修や法人研修、外部研修等学びの機会を提供し、職員に主体的に参加してもらえるようにしている。	職員の希望する研修をリサーチし、少しでもモチベーションに繋げるようにして、職員の資質向上に繋がりたい。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0		大人だけでなく子ども本人の意向を反映できるように丁寧にアセスメントしたい。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	児童発達支援管理責任者だけでなく関係する職員も一緒に話し合って支援計画を作成している。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	2	訪問先施設の担当者等と事前の打ち合わせができていない所とできていない所とが実際にあった。	事前に打ち合わせをして、目標や課題を共有した上で実施するように改善したい。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2	2	ガイドラインを十分に読み込めていないままに支援内容を設定していたところがある。	ガイドラインを踏まえて、より具体的な支援内容を設定したい。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	職員間で支援内容については確認している。1人または2人で支援していて、2人の時は役割分担して連携して実施している。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	必ずその支援がどうだったか報告と振り返りをしている。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2	2	支援にあたり訪問先の理念を理解、尊重する姿勢が足りなかった。	理念の違いはあってもお互いの考え方を尊重した上で協力、連携していくように改善したい。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	0		支援の検証と改善を心がけて本人や保護者、訪問先施設にとって前向きな支援となるよう心がけたい。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	保護者にはモニタリングをしているが、訪問先によってできていないところもある。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	実際にケース会議を行って役割分担も含めて連携、協力して支援するケースが増えている。	複合的課題を抱えた家庭が増えてきているので、関係機関と連携して支援する体制と意識を持って対応したい。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	一人一人の子どもの引継ぎを資料をもとに実際の様子を見てもらって丁寧に行っている。	今後も保護者の意向を踏まえて就学先を情報共有し、理解してもらえよう努めたい。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4	0	研修の機会が多い。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	4	0	東淀川区自立支援協議会の部会長として地域の会議等に参加している。	顔の見える関係になってきたので連携、協力して地域の障がい児や家族の支援を行ってきたい。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	日頃から保護者と直接コミュニケーションを取っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	子育てセミナーや勉強会、講演会など学ぶ機会を定期的に提供したり、情報共有を心がけている。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	1	訪問先施設によって事前の打ち合わせが十分でなかったところもあった。	事前の打ち合わせで目的や方向性のすりを十分に作っていききたい。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	現実には保護者の意向が強いが、こども本人の意思を汲み取るよう心掛けている。	こどもや保護者の意向をしっかり反映できるように、確認する時間を十分に取って作成したい。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0	日頃から家族とコミュニケーションをとることを心がけ、相談しやすい関係を築くようにしている。	悩みや相談に対しては、適切に対応するようにしているが、こども園で難しい場合は関係機関とも連絡を取り合い助言や支援につなぐように努めている。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	幼児の保護者や卒園児の親の会で一緒に行事や勉強会を行っており、交流したり、相談し合えるたてと横の繋がりを応援している。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	子どもの成長に伴い、子ども本人からの相談が増えている。	子どもや保護者に相談できる体制があることを常に伝え、迅速かつ適切に対応していききたい。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	子どもや保護者の状態に合わせてよりベターな方法を配慮するように心掛けている。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	1	訪問先施設によってコミュニケーションが十分に取れていないとそうでないところがある。	訪問先施設とのコミュニケーションをはかり、信頼関係を築きながら助言や支援を行うようにしたい。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	0		今後の課題と方向性を確認して次につなぐようにカンファレンスを実施したい。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0	毎回家族に報告し、支援内容の共有をしている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	1	考え方や視点のズレが大きいと、訪問先施設が求めている助言ができていない時もある。	事前の打ち合わせで目的を共有し、本人や家族にとって必要な支援を実施するための助言をできるよう努めたい。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	マニュアルによって周知はしていても訓練ができていないものがある。	防犯マニュアルについてはここ数年訓練ができていないので実施したい。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		安全管理は定期的にチェックを行い、適切に対応していきたい。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハットがあった時は必ず職員全員で話し合い、今後の対応策も含めて確認している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	年間を通して研修を行い、毎月虐待防止委員会を開いて職員同士の気付きや支え合いにつながるよう取り組んでいる。	職員の人権意識を高めるための研修の他、職員が1人でしんどさを抱えこまなくて済むような職場の人間関係作りに努めたい。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0		